

MMCの事業活動

第9回マイクロマシン技術に関する研究助成の成果概要（その1）

この研究助成制度はマイクロマシンセンターの自主事業の一環として、平成5年度より募集を開始したもので、日頃マイクロマシンに関する基礎的な研究に取り組んでおられる大学の先生方の研究に対し助成を行うことにより、マイクロマシン技術の一層の発展を図るとともに、産学交流をさらに促進しようとするものです。

このたび、第9回（平成13年度）研究助成で、平成12年度より継続していました6テーマ、及び平成13年度単年研究助成の3テーマの計9テーマが終了しましたので、研究成果の要旨をまとめました。

今号では、平成12年度よりの継続6テーマの内、4テーマを紹介します。

No.	研究課題	研究代表者 共同研究者	機関名	所属	役職	研究期間
-----	------	----------------	-----	----	----	------

（平成12年度研究助成 継続）

1	光照射によるマイクロレリーフ形成の超高感度化とその応用	関 隆広	名古屋大学 大学院	工学研究科 物質化学専攻	教授	2年
2	μTASへの酵素高度集積化を目的とした固相上微小部位への酵素分子の電気化学的固定化法に関する研究	春山 哲也	九州工業大学 大学院	生命体工学研究科	教授	2年
3	ナノCMMにおけるナノプローブシステムの開発	高増 潔	東京大学 大学院	工学系研究科 精密機械工学専攻	教授	2年
		古谷 涼秋	東京電機大学	工学部 機械情報工学科	教授	
4	微細作業環境内で3次元トラッキング可能なマイクロハンドシステム	新井 健生	大阪大学 大学院	基礎工学研究科	教授	2年
		谷川 民夫	(独)産業技術総合 研究所	知能システム研究 部門	主任 研究員	

機関名・所属・役職は平成15年5月現在のものです